

はっとこどもえん えんだより 2025ねん

2期：5月12日～6月30日



5歳児（魚）

社会福祉法人 種の会

幼保連携型認定こども園 はっとこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail hat@tanenokai.jp URL <http://www.tanenokai.ed.jp/>

種の会 法人本部Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp



★健診のおしらせ

6月 4日(水) 内科健診(全園児) 13:00~
6月10日(火) 歯科健診(全園児) 10:00~

★尿検査を行ないます。

回収日は下記の通りとなっております。回収日・時間を過ぎますと、回収・検査してもらえませんので、お忘れのないようご提出ください。

詳細はチャイルドケアウェブでお知らせ致します。

尿検査・・・6月16日(月) 9:30までに回収
6月17日(火) 9:30までに回収
予備日・・・7月 8日(火) 9:30までに回収

★登降園について

- ・門を開けられたままですと、子ども達が飛び出す可能性がありますので、すぐにお閉め下さい。かんぬきも忘れずに閉めていただきますよう、よろしくお願いします
- ・お迎えに来られた時点で、お子さんは保護者の監督下にあります。片づけを済ませ降園をお願いします。また、お迎え後にホールや園庭で遊んでいると思わぬ事故や怪我に繋がることもあります。すみやかに降園して頂きますようお願いいたします。

★チャイルドケアウェブについて

- ・登降園時にはQRコードをかざしてください。緊急時の人数確認に使用しますので、必ず毎日して頂くようにお願いします。チャイルドケアウェブによるリーダー読み取りを忘れた場合は、登降園した時刻をリーダー横に置いてある登降園時間記入表に必ず記入して下さい。
- ・お子様の様子を共有するため、毎朝電子連絡帳をご入力ください。



ケガをする権利とは

園長 ふじわら 藤原

新しく入園してきた子どもたちも少しずつ園生活に慣れてきました。登園時、ご家族と涙ながらに離れた後も、数分後には気持ちを切り替え、笑顔で遊ぶ姿がたくさん見られるようになっていきます。進級した子どもたちはぐっとお兄さんお姉さんになった一面を見せてくれ、新しいお友達への声かけや関わり、個人の振る舞いやクラス全体としての雰囲気、対話の進め方にも変化があり、一人ひとりの成長を感じる場面に日々出会っています。

4月から、子どもたちは園庭やお散歩の時間を通じて、たくさんの草花や虫との出会いを楽しんでいます。心地よい気候の中、自然に触れながら、外遊びの魅力を存分に味わっています。はっとこども園では、自然のなかで起こりうるケガについて、「子どもにはケガをする権利がある」と考えています。これは、ドイツ・バイエルン州の幼児教育カリキュラムの中にある考え方で、子ども自身がケガを防ぐ力を身につけていくことを重視しています。子どもはさまざまな遊びを通して新しいことや難しいことに挑戦し、時に小さなケガを繰り返すことで、危険への意識を高め、状況に応じて適応できる力を身につけていきます。

もちろん、取り返しのつかない大きな事故や重傷につながるケガは避けなければなりません。しかし、軽度なケガや小さな失敗は、子どもたちにとって貴重な学びの機会です。雨上がりの園庭で石の上を滑りヒヤッとする経験、勢いよく走りすぎて止まれずに転ぶ経験、砂利の上で足をとられる経験などを通して、身のこなし方を自然と習得していきます。以前、医師会の先生方と子どものケガについてお話をする機会がありました。最近の子どもたちは顔をケガすることが増えているそうです。本来であれば、転ぶ瞬間には手が先に出るものですが、その反射的な動作ができる子どもが減っているということでした。転び方こそ考えてできるものではなく、体験を通して身につけていくほかにはないと思います。

幼児期の子どもたちにとって重要なことは、五感を使いながら自分自身で経験することです。「自分の身体ってこんなふうに動くんだ」「こんなところは滑りやすいんだ」と人から知識として教えられるだけではなく、実際の体験を通して気づいていくことが成長において大切です。子どもの安全を守ることはもちろん必要ですが、ケガをさせないように子どもの行動を制限しすぎると、貴重な経験の機会を奪うだけでなく「知りたい」という好奇心にもセーブをかけてしまうかもしれません。誤解を恐れずに言えば、「小さなケガはチャレンジや成長の証」とも言えるかもしれません。大人は「ケガをすること＝失敗」と捉えがちですが、子どもにとってはどうでしょうか。幼児教育においては「見守る心」すなわち「子どもを信じる力」がとても大切だと言われています。子どもだけでなく、私たち大人もまた、日々たくさんの失敗をしながら学んでいます。はっとこども園では、子どもも大人も「失敗はチャレンジや成長の証」として前向きに捉え、みんなで成長していきたいと考えています。





子どもの心の声のサイン

～ゴールデンウィークを終えて～



主幹保育教諭 橋本 ばしち

ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか。新年度が始まって1ヶ月、気持ちも身体も頑張っていてお休みの間はゆっくりとされていたかと思います。ゴールデンウィーク明けからまた、元の生活が始まります。休みが続いた分、大人も子どもも気持ちを切り替えるのが難しい時期ですね。連休明けは、不安定な気持ちで登園してくる子どもも少なくありません。子どもの行動に隠されている心の声のサインは、小さな仕草や不思議な行動・ちょっと困ってしまう行動に現れることがあります。実は、その小さな仕草ひとつひとつにうまく言葉にできない「大きな感情」や「深い思い」が隠れていることがあります。子どもは自分の気持ちを、まず「行動」という形で表現します。例えば急に甘えてきたり、意味もなくふざけているように見えたりする行動も、実は心の中の「大切な感情」が表れているサインかもしれません。子どもの行動に込められたメッセージの意味をご紹介します。日々の子育てのヒントとなり、お役に立てればと思います。子どものサインに気付けるようになることで、自然と寄り添い温かくかわることができるようになればと思います。「この行動、もしかして何かを伝えようとしているのかな？」と考えるきっかけになれば嬉しいです。お子さんの普段の様子と重ねながら考えてみてください。



① 同じ服や持ち物ばかり選ぶ

特定の服やぬいぐるみ・アイテムばかりを選ぶのは、「ルーティーン」によって安心感を得たいという気持ちの表れです。その物は「心のよりどころ」になります。特に環境の変化（入園・引っ越しの時など）に強まる傾向があります。連休明けも子どもにとっては環境の変化ですね。無理にやめさせるよりは見守りながら「安心していいよ」と伝えるようなかわりが大切です。大人でいうラッキーアイテムやお守りのようなものと似ており、心理的安定剤として機能しているのです。

② 「1人でできるよ!」と主張する。

「自分でやってみたい」という気持ちが強くなる時期です。この時期に「できた」という体験を積むことで自信が育ってきます。たとえうまくいかなくても「チャレンジしたこと」を認めることがとても大切で、大人が手を出し過ぎてしまうと「やっぱり自分にはできないのだ…」と感じてしまうことにもなります。だからこそ、温かく見守りながら「がんばってね」と声を掛けてあげましょう。そうすることで「自分ならできる!」という「気持ち」＝「自己効力感」が育ちます。この自己効力感は、将来の学びや人とのかわりにも大きく影響します。つまりこの言葉は、「僕の(私の)力を信じてほしい」という心からのメッセージなのです。

③ 急に抱きついてくる

突然の抱っこやハグは、言葉にならない「心の SOS」の可能性があります。スキンシップには「オキシトシン」という愛情ホルモンが分泌される作用があり、安心感や絆を深める効果があるとされています。特に不安を感じている時は、人は自然と「ぬくもり」を求めます。これは大人でも同じですが子どもは特に身体的な接触で安心を得る傾向が強いのです。「理由もなく」ではなく、ただ「理由を言葉にできない」だけのことが多いのです。静かに抱きしめ返すだけで子どもの心はふっと緩みます。感情の自己調整の練習にもなっているため、拒まずに受け止めてあげたい行動です。それは、「さみしい」「心配」「甘えたい」そんな気持ちの塊なのです。

※他にも子どもの行動に隠された心のメッセージはたくさんあると思います。子どもの心はとても繊細で豊かです。行動の裏にある小さな心の声に、大好きな保護者の方が気付いた時、親子の絆はもっと深くもっと温かくなっていくことでしょう。全てを完璧に理解することは難しいかもしれませんが、ただ、「分かろうとすること」それだけで子どもの心は救われるのです。今日も皆さんの温かなまなざしが誰かの小さな心に届いていることを信じて、日々かわっていきましょう。

園庭の花





〇さい 1さい
おいさまぐみ

たけなか たかはし
かとう 高橋
加藤 おくにし
奥西

2期：春～夏を味わう期（5月12日～6月30日）

- 【テーマ】 季節の移り変わりを感じよう
いろいろな感触遊びを楽しもう
- 【室内活動】 なぐり描き（蜜蝋クレパス／クレパス）・絵の具（赤）
感触遊び（小麦粉粘土・片栗粉・寒天など）
- 【うた】 ♪おつかいありさん ♪かたつむり ♪あめふり ♪ぶんぶんぶん
- 【わらべうた】 おちょうすおちょうす・あがりめ さがりめ・にかいへ など
- 【戸外活動】 園庭遊び・どろんこ遊び・散歩（HAT内・近隣の公園）
- 【異年齢交流】 乳児交流・クローバーデー
- 【栽培】 トマトを育てよう
- 【食育】 玉ねぎ（5月）・アスパラガス（6月）
※内容は変更になる場合があります



園庭遊び

新しい生活が始まり、1ヶ月ほど経ちました。朝は泣いてしまうこともあります。それぞれ笑顔で過ごせる時間がぐんと増えています。晴れている日には、園庭、ミニ園庭で遊んでいます。砂場で遊んだり遊具や築山に登ったり、道路を走るバスや救急車などを見たりと、好きな遊びや安心できる場所・物を見つけて過ごす姿がみられます。今後も子ども達の興味や関心を広げていきながら、楽しく安心して過ごせるように関わっていきます。



ふれあい遊び・リトミック

おやつを食べた後、みんなでリトミックとふれあい遊びをしています。最初は保育者がやっているのを見ているだけだった子ども達でしたが、毎日行なうことで音楽に合わせてソウになったり、うさぎになったりして楽しそうに遊んでいます。「じょうぶないす」というふれあい遊びが人気で、保育者や友達のお膝に座り、肩や背中を椅子に見立てて「トントン、ペタペタ」といろいろな方法でふれあいながら遊んでいます。お友達と一緒にやっているのが楽しくて笑顔も見られます。これからもたくさん音楽に合わせて体を動かして表現することを楽しんでいきたいと思います。





2さい
なぎさぐみ

まえだ いすみ こばやし
前田・泉・小林

【2期】春～夏を味わう期（5月12日～6月30日）

- 【テーマ】 雨や水たまり、新緑など身近な自然をのぞいてみよう
- 【室内活動】 クレパス遊び・シール貼り・粘土（油・米粉）・絵の具遊び（黄色）
- 【戸外活動】 園庭遊び・泥遊び・色水遊び・散歩（HAT内・近隣の公園）
- 【うた】 ♪しゃぼん玉 ♪どんないろがすき ♪かたつむり など
- 【わらべうた】 こどもとこどもが・とのさまおちゃくざ・ふくすけさん など
- 【集団遊び】 親子でメリーゴーランド・追いかけて・ひつつきもつつき など
- 【異年齢交流】 クローバーデー・乳児交流
- 【栽培】 夏野菜を育てよう（苗植え・水やり）
- 【食育】 そら豆（5月）・メロン（6月）

春の散歩楽しいね

暖くなり、散歩が楽しい季節になりました。なぎさ組では、お友達と手を繋いで散歩に行っています。色とりどりの花を眺め「かわいいね」とお話をしたり、鳩やスズメに「ばいばーい」と手を振ったりと、身の回りの様々なものごとに興味津々な子ども達。保育者と一緒に『♪さんぽ』や季節の歌を歌ったり、「どしんどしん」と足を踏み込みながら力強く歩いたりする姿も見られます。

1期はHAT内に散歩に行きました。ある日の散歩中、Aちゃんが歩くことに疲れてしゃがみこんでしまいました。すると前を歩いていたお友達が「がんばれー」「おいで」と励ましてくれました。Aちゃんは元気が出たのか立ち上がり、嬉しそうに手を繋ぎ駆け足で来てくれ、みんなで喜ぶ姿が見られました。少しずつお友達を意識する姿も増えてきたなかで、子ども達にとってお友達の励ましが大きな力になっていることを改めて感じました。



2期では、梅雨、新緑など自然に興味を持つことをテーマにしています。春から夏にかけての季節の移り変わりや、気温や水温などの変化をみんなで体験し、楽しんでいきたいと思います。



ひらぐり・かもち
平葉・坂本



【テーマ】	雨に触れよう～雨が好きなもの～
【絵画・制作】	傘づくり～マーカーでにじみ絵～ ダンゴムシのお散歩（クレパス） はさみで1回切り
【うた】	♪バスごっこ ♪ふしぎなポケット ♪かたつむり ♪あめふりくまのこ ♪あめふり ♪たなばたさま
【ふれあい遊び】	リトミック 人数集め（2人組でふれあい遊び）
【戸外活動】	親子遠足 散歩（近隣の公園）
【農育・食育】	夏野菜の水やり おにぎりクッキング
【異年齢交流】	フリーデー グループ活動 どろんこ遊び
【絵本】	わたしのかさはそらのいろ ダンゴムシのおうち



絵の具で排出

絵の具遊びをしました。赤色の絵の具が登場すると「やりたい!」と興味津々の子ども達でした。はじめは指先でペタペタと色を付けていましたが、気が付くと両手を使い、紙いっぱい色を塗る姿に変わっていました。「ぬるぬるだね」「気持ちいいね」と絵の具の感触や広がりを楽しんでいました。

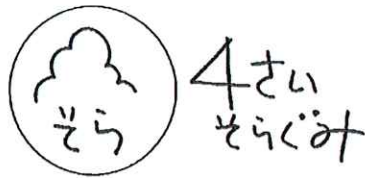


さくらの木をつくったよ

園庭や公園で満開のさくらの木を目にしました。風に吹かれて飛んで行ったさくらの花を見つけ、両手いっぱいに集める子ども達の姿がありました。

そこでにじ組にも模造紙に描かれた大きなさくらの木をもってきました。そこにはさくらがついておらず、「寂しいね」と言っていると「つけてあげる」と子ども達から声が上がりました。のりを使ってさくらをペタペタと貼っていき、「さくらできたね」と友達と嬉しそうに笑い合う姿が見られました。グループごとに素敵なさくらの木が出来上がりました。





きさい いけがみ
笹井・池上

2期（5月12日～6月30日）

- 【テーマ】 梅雨を感じて満喫しよう
- 【絵画・制作】 色水遊び 雨の絵画 セタ制作
- 【うた】 ♪あめふり ♪かたつむり ♪しゃぼん玉
♪あめふりくまのこ ♪にじ ♪ふしぎなポケット
- 【音楽遊び】 季節の歌に合わせたリズム遊び
- 【運動遊び】 2人組フープ列車
- 【戸外活動】 散歩（雨降り散歩） 親子遠足
- 【農育・食育】 夏野菜の苗植え・水やり 豆おにぎりクッキング
- 【異年齢交流】 フリーデー グループ活動 泥あそび
- 【絵本】 ダンゴムシのいる庭 でんでんでんしゃ



いちごのクッキング

食育やクッキングで、いちごを堪能した子ども達。食育では、お調理の先生から、いちごの成長過程を教えてもらったり、いちごクイズで知識を深めたりすることが出来ました。実際に触って匂いを嗅いでみると「あまい匂いがする」「ハートの形をしてるよ」とたくさんの発見がありました。クッキングでは、いちごジャムづくりに挑戦しました。グループの友達と協力してヘタを取ったり、子ども達で順番を話し合いながら、いちごを潰したりと子どもたち同士で話をしながら進めることができました。お鍋で煮詰めていく際には、「おいしくなーれ」と言いながら愛情いっぱいのジャムが完成しました。

「いい匂い」「あまくておいしい」と作る楽しさやそれをみんなと食べる喜びを感じることができました。

なつやさい どれにする？

夏に向けてどんな野菜を育てたいか、グループで話し合いをして決めました。それぞれが好きな野菜、苦手な野菜を主張し合い、友達と意見がぶつかり合う場面もみられましたが、自分の意見だけでなく友達の意見も受け入れながら話し合いをすることができました。みんなで決めた夏野菜、成長していく過程を楽しみながら、大事にお世話をしていきたいと思っています。





5さい
かもめぐみ

福岡・松田

2期（5月12日～6月30日）

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 【テーマ】 | 梅雨を感じよう |
| 【絵画・造形】 | 絵の具で雨を表現してみよう
オリジナル国旗作り セタ製作 |
| 【うた】 | ♪あめふり ♪てをつなごう
♪にじ ♪たなばたさま ♪小さな世界 |
| 【音楽遊び】 | ピアノカ 楽器リズム打ち |
| 【運動遊び】 | 人数集め ルールのある遊び |
| 【戸外活動】 | 散歩（近隣の公園） 電車に乗っておでかけ |
| 【農育・食育】 | 夏野菜の栽培・水やり カレークッキング |
| 【異年齢交流】 | フリーデー グループ活動 どろんこ遊び |
| 【絵本】 | こっきつくっちゃいました ぴっかぴかすいぞくかん |

お花で遊んだよ

1期は「お花」について、いろいろな活動をしました。その様子をお伝えします。

まずは散歩に行ってお花探しをして、見つけた花の写真を撮り、色分けをしました。お花の内側で色が変わっていることや「グラデーション」になっていることに気付いたり、どんな色のお花が多いのかが分かったりと、気がたくさんあったようでした。

また、園庭の桜が綺麗だったので、桜の木の下にブルーシートを敷き、お花見ごっこをしました。桜の花びらや砂を使ったお弁当作りが盛り上がっていたり、桜の花びらを集めて息を吹きかけて楽しんだり、お花見気分を味わっていた子ども達でした。お花を帽子や服につけておしゃれをすることを楽しむ姿もあり、公園でも園庭でも「テープほしい」と言って、集めたお花をテープでくっつけて嬉しそうに見せてくれます。散っている花びらをたくさん拾い、色水遊びを楽しむ姿もありました。

いろいろな活動を経験した後に絵の具を使って「お花」の絵画をしました。色作りにこだわり、3原色＋白の絵の具を使って上手にお花の色を作っていました。思い思いのお花を描き、素敵な作品が出来上がりました。



つりのせいせい

やまおか
山岡

子ども達の成長に「絵本」は大きな役割を果たすと言われています。絵本は「親子でコミュニケーションがとれる」「感情を豊かにする」「想像力を育てる」ことができます。ぜひ、子ども達との楽しい時間、大切な時間を作っていただけたらうれしく思います。

さて、今回は、おすすめの絵本をご紹介します。参考にしてみてください。



「おひさま あはは」 作：前川かずお 出版社：こぐま社
黄色いカラーと、大きな口で笑うおひさまの表紙が印象的な一冊。大きな木や、小鳥、お花などの登場人物がイキイキと笑っていて、読んでいるだけでこちらも元気になってくるようです。繰り返される「あはは」のリズムも心地よく、親子で笑顔になれる絵本です。



「はらぺこ あおむし」 作：エリック・カール 出版社：偕成社
0歳児から読める絵本の定番で、世界60以上の言語で出版されているベストセラー作品です。日曜日の朝に生まれたあおむしが1週間かけてさまざまな食べ物を食べ、最後には美しい蝶になる話です。穴の開いた仕掛けには、指を入れたり、覗いたり…。こうして絵本に親しむきっかけにもなるのだと思います。



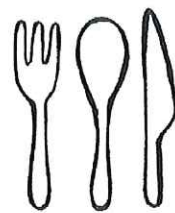
「わたしのワンピース」 作：にしまきかやこ 出版社：こぐま社
目が覚めるような色づかいと、ふんわりとしてリズムカルな言葉が、あっという間に子どもの心をとらえます。お花畑を通れば真っ白なワンピースが花模様へ、雨が降ってくれば水玉模様。そして、小鳥模様のワンピースは、空を飛んでしまいます。最後は、どんな模様のワンピースになるのか、ワクワクできる一冊です。

はっとこども園では、絵本の貸し出しを毎日行なっています。そこで“絵本の貸し出し”についてのお願いです。ご確認をお願いします。

- ① 1回に借りることができるのは1冊です。貸し出し表に記入していただき、絵本袋に入れてお持ち帰りください。
- ② 幼児クラスの絵本はデッキの返却ボックス、乳児クラスは元の棚に戻し、貸し出し表に返却日を記入してください。
- ③ 破れたり、傷んだりした場合は、職員にお知らせください。状態によっては弁償していただく場合もあります。
- ④ ご家庭で絵本を見るときは、お子さんと一緒に見てください。

いろいろな絵本がありますので、ぜひお子さんと一緒に選んで借りて帰ってくださいね。

お台所の先生から



こんどう ふくい
近藤・福井

春の陽気と共に新年度がスタートしました。季節の野菜を多く取り入れ、栄養バランスの取れた美味しい給食作りを心掛けています。また、日々の給食や食育を通して、食の大切さや、食べることの楽しさを子ども達に伝えていきたいと思います。そんなはっ
とこども園での給食について簡単にご説明します。他にも気になる点があれば、気兼ね
なく給食室へ来てください。



《はっとこども園の給食》



～食材について～

はっとこども園では、「子ども達に安全・安心な食べ物を」ということで、無添加、
低農薬の食材を厳選し、国産の物にこだわった食材を出来るだけ使用しています。ま
た、野菜・果物・魚・肉に関しても安心して食べることができるように、産地を確認
し、より良いものを取り入れています。

～ディスプレイについて～

給食室の横に給食とおやつを毎日ディスプレイしています。水曜日（変更あり）に離
乳食・おひさま・なぎさ組の給食を順番に掲示していきます。はっとこども園では、こ
だわりの強化磁器の食器を使用しており、落としたり割れてしまう食器を使うことで、
物を大切に扱うことを学べるようにしています。また乳児の食器は返しが付いており、
スプーンを使って自分で食べやすい形になっています。ディスプレイをご覧の際は、そ
れらの食器にも注目してみてくださいね。

《給食のお米について》

給食では『にこまる』という銘柄のものを使っています。安心安全で良質な有機肥料
を使っており、可能な限り無農薬を目指しておられる京都の農家さんから取り寄せてお
り、5分づき米で提供しています。5分づき米とは、精米時に取り除く量を50%にし
たもので胚芽がほぼ残るので、玄米と白米の間のお米です。白米のように食べやすく、
ビタミンやミネラル・食物繊維などが豊富で栄養たっぷりです。これからも、栄養バラ
ンスのとれたお米中心の給食を提供するよう努めていきたいと思います。



ほけんだより



看護師 ならき 檜木

新緑がまぶしい季節です。新年度がスタートして早くも1ヶ月以上が経ちました。
5月病と言われるように、体調を崩しやすい時期でもあるため、疲れたらゆっくり休んで
心身共に健康に注意していきましょう。

<5・6月の保健行事>

歯科衛生士さんによる歯科指導：5月26日（月）10時～（4歳、5歳児）

内科健診（村岡内科）：6月4日（水）13時～（全園児）

歯科健診（松浦歯科）：6月10日（火）10時～（全園児）

園児検尿：6月16日（月）・6月17日（火） 予備日：7月8日（火）



<6月4日～10日は歯と口の健康週間>

・乳児幼児期から十分な歯のケアが大切

歯の健康は全身の健康状態にも大きくかかわってきます。

健康な歯で生涯を過ごすことが出来るように乳児期から歯のケアを心がけましょう。

・乳歯のうちから虫歯予防

乳歯は生後5～9ヶ月頃から生え始め、3歳頃までに生えそろいます。（個人差はあります）

乳歯は ①食べ物を噛むこと

②正しい発音で言葉を話すこと

③永久歯を正しく生える場所に導くという大事な役割を担っています。

こうした大切な働きをする乳歯が虫歯にならないように歯磨きの習慣を身につけることが大切です。乳幼児期は口の感覚が、鋭敏なため、子どもの唇や歯肉を触るなどして、徐々に歯ブラシの感触に慣らしていくようにします。

・保護者の仕上げ磨きが大切

寝ているときは、唾液の分泌が少なくなるため、寝る前に仕上げ磨きをすることが予防の上からも大切です。

歯磨きのポイント

- ・膝の上に子どもの頭を乗せ、寝かせ磨きをします。
- ・鉛筆と同じように歯ブラシを持ち、軽い力で磨きます。
- ・奥歯の溝、歯と歯ぐきの間、歯の裏は特に丁寧に磨きます。
- ・前歯は、歯ブラシを90°に当てて磨きましょう。
- ・歯と歯ぐきの間は、歯ブラシを45°に当てましょう。



ウェルネス体育あそび

体育講師：難波 泰人

第2期の取り組みは、3歳児では体育あそびにも少しずつ慣れてくる時期ですので、動きを増やししながら、基本動作を中心に多くの動作を身につけていきます。4歳児、5歳児は基本動作に加え複合動作もたくさん取り入れ、楽しみながら身体の使い方を身につけていきます。4歳児5歳児は頑張りタイムと題しながら、技能獲得にも取り組んでいきます。

第2期の取り組みとねらい

サーキット運動

○3歳児クラス

U形サーキット

- ・U形コースで行い、道具を順番に進むことを覚える。
- ・サーキット運動に興味や関心をもちながら、色々な道具、動きにふれあっている体を動かす楽しさと、身体の使い方を学んでいきます。

○4歳児クラス

U形サーキット

- ・サーキット運動により、生理的運動欲求に応えるためにも運動量の確保を行いながら、心身の安定を図っていきます。
- ・基本動作に負荷を加えながら、ひとつひとつの動きを安定して行っていきます。
- ・複合動作①の経験（～しながら～する。という2つの動作を同時に行う。）

○5歳児クラス

U形サーキット

- ・活動の中で動きの正確さ（バランス感覚、リズム感や連続性など）を図っていきます。
- ・複合動作②の経験（～から～して～する。という3つの動作を同時に行う）を行います。

ポイント指導

・3歳児クラス

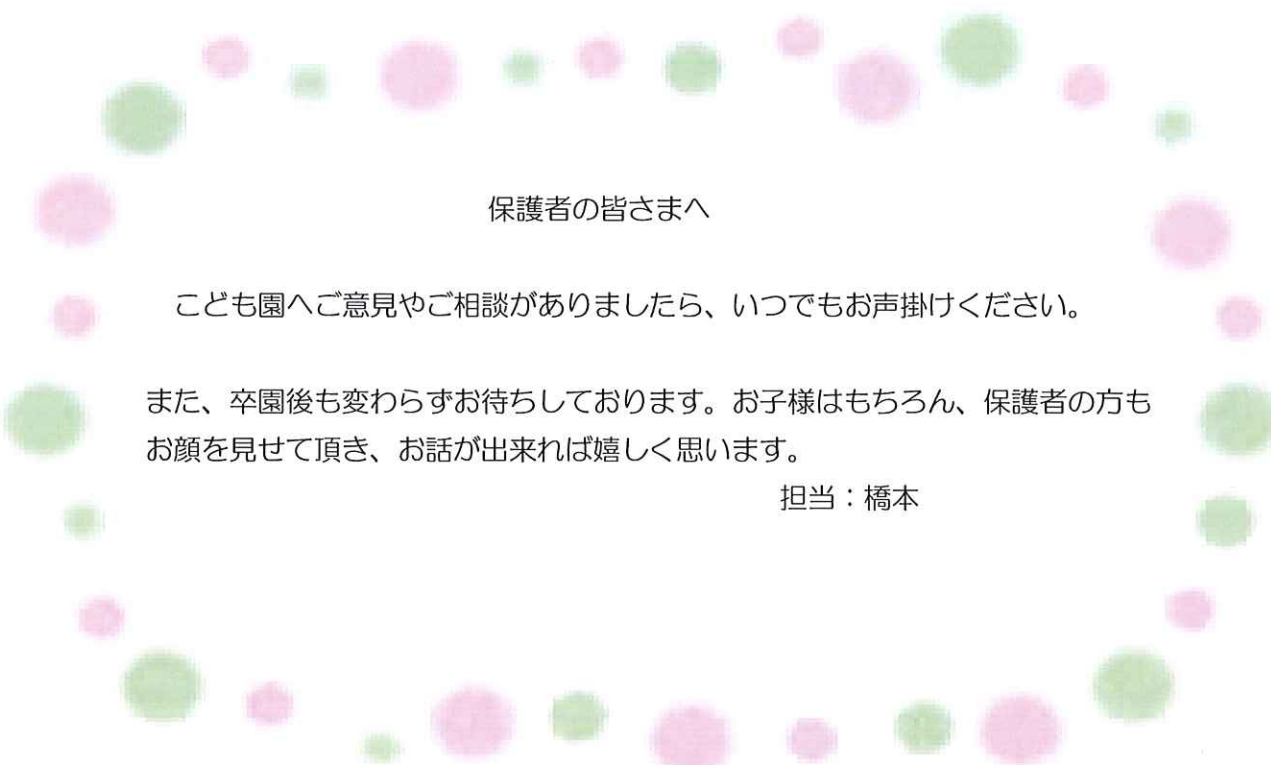
- ・マット「横転」⇒横向きでまっすぐに転がっていく感覚を身につけていきます。
- ・跳び箱「お山登り～ジャンプ」⇒支持をしてのぼり、足の裏で着地を行います。
- ・鉄棒「ぶらさがり～足タッチ」⇒鉄棒にぶらさがりながら手を離さずに、鉄棒に足をタッチしていきます。

・4歳児クラス

- ・マット「前回り」⇒前に真っすぐ回った後、立ち上がるころまでを行います。
- ・跳び箱「台上～開脚乗り」⇒台上から踏み切り板をすぐに踏みきって開脚で跳び箱にのります。
- ・鉄棒「つばめ～前回り降り」⇒鉄棒に跳びついた後、腕支持の姿勢から手首を前に回しながら、上体を倒していきます。

・5歳児クラス

- ・マット「後転」⇒手の平でマットに手を着き、後ろに回ります。坂付きと坂なしの両方で実施します。
- ・跳び箱「開脚とび」⇒助走からふみきり板を強く蹴りお尻を高く上げながら跳び越していきます。
- ・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒脇を引き締めて、アゴを引きながら蹴り上げを行います。最後まで、お腹を見ながら背中を丸めて行います。



保護者の皆さまへ

こども園へご意見やご相談がありましたら、いつでもお声掛けください。

また、卒園後も変わらずお待ちしております。お子様はもちろん、保護者の方もお顔を見せて頂き、お話が出来れば嬉しく思います。

担当：橋本